

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015007	事務事業名	土地区画整理管理事業			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	管理市有地等	事業の目的 (意図)	管理市有地等の適切な整備及び管理を実施し、良好な住環境の保全を図る。
事業の内容 (手段)	区画整理事業が完了した地区内の管理市有地等について、適切な整備・管理を実施する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	1.0	1.0	1.0
					実績値	1.0	1.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	184	184	184	192	184
(予算額)	うち一財	千円	184	184	184	192	184
直接事業費	千円	156	184		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	156	184			
正職員人件費	千円	741	366				
	人工数	人	0.10	0.05	0.05		
支出コスト	千円	決) 897	決) 550				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H24年度以降は、熊毛地区のマホールポンプの清掃業務委託を実施。 H25～H26年度については、富田中央土地区画整理事業の未完了建物の移転と道路整備を実施。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 現在継続的な実施事業は熊毛地区の案件のみであるが、市内の施行完了地区には管理市有地が点在している。今後現状をより把握し、時期を見て所管換等を検討していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	熊毛地区の案件については今後も毎年度一回の定期清掃を確実に実施。 その他管理地については、必要に応じて然るべき整備等を検討する。	評価責任者コメント	管理市有地を適切に管理し、市民への安心安全を図る。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
実施内容 H29年度 熊毛地区のマホールポンプ清掃業務 業務完了日:H29.5.19 H30年度についても、予算内で引続き適切に執行する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	土地区画整理管理事業	毎年度の管理業務を確実に実施する。	熊毛地区のマホールポンプの清掃業務を実施。	184 可	0.05	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015008	事務事業名	久米中央土地区画整理事業一般事務事業		
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	区画道路や調整池等の公共施設と周辺宅地	事業の目的 (意図)	一体的整備を図り、公共施設の充足や無秩序な市街化を抑制し、健全で良好な市街地を造成する。
事業の内容 (手段)	久米中央土地区画整理事業における審議会、評価委員会を開催し、区画整理法上の諸手続きを進める。道路照明、排水施設の清掃点検、保険料等施行中の公共施設の維持管理を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	98.4	98.2	99.1
					実績値	95.3	97.1	
					達成度(%)	96.8%	98.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,824	2,763	2,592	2,445
	うち一財	千円	3,824	2,763	2,592	2,445	2,592
(決算額)	直接事業費	千円	2,050	2,206		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	2,050	2,206			
	正職員人件費	千円	7,775	2,931			
	人工数	人	1.05	0.40	0.30		
	支出コスト	千円	決) 9,825	決) 5,137			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成9年度の事業決定から実施しており、数度の計画変更を行い事業を継続実施している。合併特例債の導入により大幅に事業進捗が図られた。平成27年度末に事業計画変更(第6回)を実施し、施行期間、総事業費等を変更。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 事業の進捗に伴い市管理地は減少している、公共施設については、供用開始しており事業完了まで継続的な保全管理が必要で、仮設公共施設の廃止等を行い、保全管理費用の削減を進める必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	審議会、評価委員会は区画整理法上設置が義務付けられており、仮換地の変更や換地計画の審議等事業を進める上で実施が必要不可欠な組織である。施行中の公共施設については、事業が完了し各所管に移管するまでは定期的な保全管理に努める必要がある。	評価責任者コメント	審議会等の開催及び市管理地の保全にかかる経費削減のため、事業の早期完成に向け重点的に取り組む。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
事業の進捗に伴い減少した仮設施設の維持管理費等について適切に減額を行った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	久米中央土地区画整理一般事務	審議会、評価委員会を開催し、区画整理法上の諸手続き等を行う。地区内管理地や整備済み公共施設の管理保全を行う。	H28.12評価委員会を開催。単独保留地の予定価格を審議(28年度に売却済)整備済み管渠側溝の清掃や調整池付帯施設の保守管理等を実施。	2,206 否	0.40	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332008	事務事業名	土地区画整理清算事業		
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	新地・熊毛中央地区の徴収清算金	事業の目的 (意図)	分割納付の徴収清算金を完納させる。
事業の内容 (手段)	分割納付となっている新地・熊毛中央地区の徴収清算金について、完納させる事業。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	147,303.1	147,303.1	147,303.1
					実績値	145,561.1	145,635.1	
					達成度(%)	98.8%	98.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	8	8	8	8
	うち一財	千円	8	8	8	8	8
(決算額)	直接事業費	千円	8	0		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	8	0			
	正職員人件費	千円	2,592	2,931			
	人工数	人	0.35	0.40	0.25		
	支出コスト	千円	決) 2,600	決) 2,931			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	新地についてはH16年度より、熊毛中央地区についてはH21年度より清算業務を開始。一括納付が困難な者については分割納付を認め、以降徴収業務を継続している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 完納までの期間が長期に渡るため、事務内容の引き継ぎを徹底させる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	少しずつではあるが、定期的な納付により残額は減少している。今後も納付が途切れる事の無いよう徴収業務を継続する。	評価責任者コメント	清算事業の早期完了に向けさらなる徴収率の向上を図る。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
適宜必要な納付依頼を実施し、継続的な徴収事務を実施する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	土地区画整理清算事業	清算金納付義務者の分割納付を完納させ事業の完了を図る。	分割納付及び滞納清算金について定期的な徴収業務を実施。	8		0.40	0.00
②				否			
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332010	事務事業名	久米中央土地区画整理事業		
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	区画道路や調整池・公園等の公共施設と 周辺宅地	事業の目的 (意図)	一体的整備を図り、公共施設の充足や無秩序な市街化を抑制し、健全で 良好な市街地を造成する。
事業の内容 (手段)	都市計画道路及び区画道路:計画延長6,561.7m、通路:計画延長522.5m、公園:3箇所 8,161.6㎡、宅地整地:187,152.18㎡、保留地: 6,020㎡ 事業施行期間 平成9年4月15日～平成37年3月31日(清算期間5年含む)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
事業進捗率	執行済額/総事業費		%		98.4	98.2	99.1
					95.3	97.1	
					96.8%	98.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	896,247	412,525	285,544	245,988
うち一財		千円	64,747	50,825	65,044	86,308	52,381
(決算額)	直接事業費	千円	524,426	197,007		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	54,626	36,407		事業進捗により、未 整備箇所が減った 為	事業進捗により、未 整備箇所が減った 為
	正職員人件費	千円	88,490	61,180			
	人工数	人	11.95	8.35	8.25		
	支出コスト	千円	決) 612,916	決) 258,187			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	平成9年度の事業決定から実施しており、数度の計画変更を行い 事業を継続実施している。合併特例債の導入により大幅に 事業進捗が図られた。平成27年度末に事業計画変更(第6回) を実施し、施行期間、総事業費等を変更。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 滞りの無い施工を進める為に、建物移転や各種工事間のスケ ジュール調整を密にする必要がある。 現時点においても事業について、合意形成が十分に図られて いない箇所が存在しており、施行スケジュールに遅延が生じてい る。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	H31年度の事業完了に向けて計画的に事業を進める。	評価 責任者 コメント	早期完了に向け地元との合意形成を積極的に進めていく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
事業完了後の公共施設の移管時期を見据え、計画的な施設補修を実施し単年度での経費抑制を図る また、草刈り業務等職員で実施可能なヶ所等については職員で対応する事で経費節減を進めた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	久米中央土地区画整理事業	区画道路や調整池・公園等の 公共施設と周辺宅地との一体 整備を図り、健全で良好な市 街地を造成する。(目標値: 98.2%)	街路築造、宅地造成、公園整備(1ヶ所) 外 建物移転 1戸1棟	197,007 否	8.35	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192083	事務事業名	中溝線整備事業費		
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	都市計画道路中溝線	事業の目的 (意図)	富田西部第一土地区画整理事業区域界から国道2号までの区間において、歩行空間を確保した道路を整備することにより、歩行者の安心かつ安全な空間を形成しつつ、本市の臨海部から国道2号以北の市街地までの道路ネットワークを形成し、交通の円滑化を図る。
事業の内容 (手段)	●施行場所: 大字富田字中溝、日地町及び大字富田字新町 ●工事種別: 道路改良及び舗装 L=320m W=16m ●施行期間: 28年9月9日～H38年3月31日		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	0.0	2.0	20.8
					実績値	0.0	0.7	
					達成度(%)	0.0%	35.5%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	2,204	20,000	201,000	90,890	126,100
(予算額)	うち一財	千円	2,204	900	10,000	10,790	20,625
(決算額)	直接事業費	千円	1,490	7,123		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	1,490	473		用地費・補償費の精査及び、地権者交渉の状況による	用地費・補償費の精査及び、地権者交渉の状況による
	正職員人件費	千円	3,703	9,159			
	人工数	人	0.50	1.25	2.35		
	支出コスト	千円	決) 5,193	決) 16,282			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年7月14日・15日地元説明会開催。平成28年9月9日事業認可取得。平成28年度と用地測量及び詳細設計を実施。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 雨水・污水計画等関係各課との協議や、起業地の地権者並びに周辺関係住民との合意形成を図る必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 達成度(%)上は目標値を大幅に下回っているが、要因が大幅な入札減によるものであり、予定していた業務については年度内に全て完了した。
	事務事業の方向性	平成28年9月に認可取得。昨年度用地測量及び詳細設計を完了。今年度については用地買収約1,130㎡、物件補償3ヶ所(建物・工作物)を予定。今後用地買収・物件補償を進めながら、平成32年度の工事実施へとすすめて行く。	評価責任者コメント	当該路線の整備は、富田地区における重要路線であるため、着実に事業を進めていく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
工事施行計画や地権者との交渉状況を勘案し、計画的な用地取得・移転補償を実施。また、土地鑑定評価や建物調査においても用地補償計画に沿い、無駄の無い実施を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中溝線整備事業	歩行者空間を確保した道路を整備し、安心かつ安全な空間と道路ネットワークを形成し、交通の円滑化を図る。	業務委託(用地測量・道路詳細設計)を実施。	7,123	1.25	0.00	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	191005	事務事業名	街路整備県事業負担金			
担当部・課名	都市整備部 区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	地方財政法第27条に基づく県で施工される街路事業費の一部負担	事業の目的 (意図)	交通ネットワークの整備により、交通円滑化、利便性の向上に寄与できる。
事業の内容 (手段)	県で施工される街路事業費の一部負担金 (1)新南陽停車場線 (2)中央通り線 (3)中央通線		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	3.0	3.0
	県街路整備事業	整備路線数	%	実績値	3.0	3.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	56,500	75,000	76,600	76,600
うち一財		千円	6,500	7,500	7,700	7,700	7,700
(決算額)	直接事業費	千円	55,460	33,596		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	12,960	2,196			
	正職員人件費	千円	741	733			
	人工数	人	0.10	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 56,201	決) 34,329			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	地元関係者の協力及び、事業内容により事業負担の増減がある。 平成28年度より建設部道路課より事業移管。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 県事業の進捗の度合いにより事業負担金に増減が生じる。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	適宜実負担金額の状況を把握し、必要に応じて予算措置と適切な支出事務を行う。	評価責任者コメント	都市計画道路の主要幹線街路事業促進のため、事業内容を確認しながら負担金事業を実施する。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
県との連絡を適宜行い、過不足の無い予算措置を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	街路整備県事業負担金	交通ネットワークの整備による交通円滑化、利便性の向上	地方財政法第27条に基づく県事業負担金の支出業務	33,596		0.10	0.00
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	15009	事務事業名	富田西部第一土地区画整理一般事務費			
担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者 (課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	中央通り線等の都市計画道路及び区画 道路や公園等の公共施設	事業の目的 (意図)	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性な どにより経済的な波及効果も期待できる
事業の内容 (手段)	富田西部第一土地区画整理事業にかかる審議会、評価委員会の開催及び地区内施設の維持管理を行う		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	93.3	95.3
事業進捗率	執行済額／総事業費		%	実績値	93.3	95.3	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,464	2,088	1,649	1,371
うち一財		千円	2,464	2,088	1,649	1,371	2,755
(決算額)	直接事業費	千円	1,381	966		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	1,381	966			
	正職員人件費	千円	2,962	2,931			
	人工数	人	0.40	0.40	0.45		
	支出コスト	千円	決) 4,343	決) 3,897			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	業開始が、平成5年度で長期間の事業である 事業も地権者に浸透してきたが、未だに事業について理解い ただけない方がいる	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 事業の進捗の遅れから地権者に土地が引き渡せず市の管理 地の維持管理費が必要となっている。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	審議会、評価委員会は土地区画整理地法のとおり実施しなければならぬ 難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討していく	評価責任者コメント	審議会等の開催及び市管理地の保全にかかる経費削減のため、事業の早期完成に向け重点的に取り組む。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
事業の進捗に伴い市管理地の保全等に係る経費の削減を行った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	富田西部第一土地区画整理 事業一般事務	審議会、評価委員会を開催し、 区画整理法上の諸手続き等を行 う 地区内施設の維持管理	審議会の開催、仮換地変更、保留地売却 処分の同意を得る 地区内施設の維持管理	1,649 否	0.45	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	332025	事務事業名	富田西部第一土地区画整理事業費			
担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者 (課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600402	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	4快適な居住環境の整備			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)土地区画整理事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	中央通り線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設	事業の目的 (意図)	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性などにより経済的な波及効果も期待できる
事業の内容 (手段)	都市計画道路及び区画道路;施工延長6,324m、幅員6~28m、通路;施工延長557m、幅員2~4m、公園;整備面積7,060㎡、水路;施工延長334m、宅地;造成面積157,193㎡、保留地;1,500㎡、事業期間;平成5年度~平成36年度(清算期間5年を含む)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	93.3	95.3	97.1
					実績値	93.3	95.3	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	555,046	164,626	186,027	201,413	86,496
(予算額)	うち一財	千円	47,546	46,676	52,627	75,113	86,496
直接事業費	千円	619,488	175,366		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	28,551	39,917		実施計画により事業の早期完了を図るため	事業進捗により、未整備箇所が減ったため
正職員人件費	千円	45,541	37,734				
人工数	人	6.15	5.15	4.30			
支出コスト	千円	決) 665,029	決) 213,100				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	業開始が、平成5年度で長期間の事業である事業も地権者に浸透してきたが、未だに事業について理解いただけない方がいる	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 現時点においても事業についてご理解いただけない方がおり事業の進捗が遅れている
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討していく	評価責任者コメント	早期完了に向け、関係機関や地元との協議、合意形成を積極的に進めて行く。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
地権者・関係機関との交渉を進め事業の早期完了を目指す。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	富田西部第一土地区画整理事業一般事務	公共施設と周辺宅地の一体整備を図り、健全で良好な市街地を整備する	都市計画道路及び区画道路:施工延長290m、宅地造成:3,500㎡を実施	186,027 否	4.30	0.00	
②							
③							
④							
⑤							